

編集後記

企画展「未知なる大地 グリーンランドの自然と文化」には、高円宮殿下と妃殿下がグリーンランドで集められたトウピラクが展示されている。同展の開幕式で日本語と英語の両方で挨拶された妃殿下の“custodians of the ice”というお言葉に非常に感銘を受けた。グリーンランドからの来賓に語りかけるように、氷に覆われた大地での暮らしは大変であろうけれども、温暖化が進む地球全体にとって極地の氷は大切なので、これからも氷を守ってください、とお話された。この「氷の守り人」たちの歴史や文化を、企画展や本号の特集を通してぜひ知ってほしい。

特別展「イメージの力」もオープンした。新美術館での展示に比べて見劣りがするのではないかと気がかりであったが、面積が狭い分、モノとの距離感がぐっと近くなり、細部が迫ってくる迫力がある。東京では真っ白い空間の中で少し背伸びしていた展示品が、こちらでは暖かい光につつまれていて、布や羽の発色もよい。「六本木の豪邸もすばらしかったけど、千里の実家はやっぱり落ち着くわ」とモノたちが言っているような気がする。

(山中由里子)

●表紙：夏のグリーンランドの風景。ヌークにて（2008年、撮影・岸上伸啓）

次号の予告

特集

疫病

※みんぱくウィークエンド・サロンの情報は、13ページに移りました。

みんぱくをもっと楽しみたい 人のために—会員制度のご案内

国立民族学博物館友の会

本館展示の無料入館や特別展示の観覧料割引にくわえ、「月刊みんぱく」や会員機関誌『季刊民族学』などの定期刊行物や、毎月の友の会講演会、セミナーなどを通して多様な文化の情報を提供しています。

みんぱくフリーパス

1年間、本館展示へ何度でも無料で入館いただけます（特別展示は観覧料割引）。他にも、みんぱくを楽しむための特典がいっぱいあります。

国立民族学博物館キャンパスメンバーズ

みんぱくと大学等教育機関との連携を図り、文化人類学、民族学にふれる学びの場を提供することを目的とした会員制度です。

詳細については、一般財団法人千里文化財団までお問い合わせください。
(電話06-6877-8893 / 平日9:00 ~ 17:00)

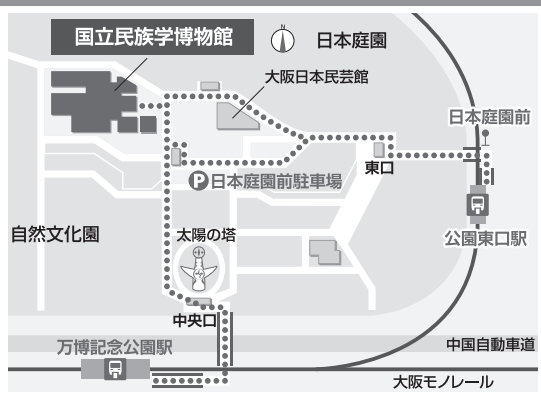
月刊みんぱく 2014年10月号

第38巻第10号通巻第445号 2014年10月1日発行

編集・発行 人間文化研究機構 国立民族学博物館
〒565-8511 大阪府吹田市千里万博公園 10-1
電話 06-6876-2151

発行人 池谷和信
編集委員 山中由里子（編集長） 櫻永真佐夫 河合洋尚
庄司博史 菅瀬晶子 丹羽典生 丸川雄三
編集アドバイザー 山内直樹
デザイン 宮谷一孝 長岡綾子
制作・協力 一般財団法人 千里文化財団
印刷 能登印刷株式会社

*本誌についてのお問い合わせは国立民族学博物館広報係にお願いします。
*本誌掲載記事の無断転載を禁じます。



交通案内

- 大阪モノレール「万博記念公園駅」・「公園東口駅」下車、徒歩約15分。
- 阪急茨木市駅・JR茨木駅から近鉄バスで「日本庭園前」下車、徒歩約15分。
- 乗用車は、公園内の「日本庭園前駐車場」(有料)から徒歩約5分。「日本庭園前ゲート」横にある民博専用通行口をお通りください。
- タクシーは、万博記念公園「日本庭園前駐車場」まで乗り入れてきます。

みんぱくホームページ

<http://www.minpaku.ac.jp/>

みんぱくフェイスブック

<http://www.facebook.com/MINPAKU.official/>

みんぱくツイッター

<http://twitter.com/MINPAKUofficial>